

林 重雄¹：愛知県田原市谷ノ口海岸に *Acrocomia* sp. に酷似した内果皮の漂着

Shigeo HAYASHI¹：Endocarp which resembles *Acrocomia* sp. stranded on the beach of Tahara City, Aichi Prefecture, Japan

ヤシ科のアレカヤシ亜科 *Arecacoideae* の中でアレカ連 *Areceae* に分類される Pricky Palm *Acrocomia* sp. は、少なくとも34種が記載されたが、現在有効な種は *A. aculeata*, *A. hassleri* および *A. (Gastrococos) crispa* とされている (Quigley et al. 2017). 分布はメキシコ、中南米およびカリブ諸島の亜熱帯地域であり、果実は動物や人により分散し、河川から海洋に流出し、海流によって広く分散し、カリブ海地域、北西ヨーロッパ海域にの海岸で確認されている (Quigley et al. 2017; Nelson 2000). 内果皮の特徴は、直径が2~3.5cmほどの球形で色は暗灰色から黒色であり、内果皮の中央にある外周上に3個の小穴がほぼ均等な間隔で見られることである (Nelson 2000; Gunn and Dennis 1976).

渥美半島に位置する田原市の太平洋側には砂浜海岸が連続し、豊橋市との境界から伊良湖岬までは、東西約30kmになる (田原市 2008). 太平洋に面する海岸一帯は、初夏から秋にかけ漂着物が打ち上げられるシーズンとなる (林 重雄ブログ). 今回本州中部の愛知県田原市の海岸で *Acrocomia* sp. に酷似した内果皮の漂着を確認したのでここに報告する.

漂着記録

筆者は2017年9月3日、愛知県田原市谷ノ口海岸 (図1) で漂着物の調査中に *Acrocomia* sp. に酷似した内果皮 (図2・図3) を確認した.

発見時 (午後1時) の天候は晴れ、最寄の伊良湖岬のデータによれば気温29.5℃、北西の風、風速4.7m/sであった (気象庁ホームページ). 内果皮は谷ノ口海岸の高潮線上に、他の漂着物と一緒に漂着していた. 内果皮の直径は24.7mm、高さは23.3mmのほぼ球形であった. 内果皮の表面の色彩は、灰色気味な茶褐色から黒色を呈しており、光沢は無かったが平滑であった. また表面にはコケムシ類の付着痕跡も見られた. 内果皮の漂着に伴って見られたものは、多量のシナアブラギリ、ピンロウ、ハマナタマメ、ナガミハマナタマメ、リュウガン、ミフクラギ、シロツブ、それに中国のペットボトルであった.

考察

これまでに日本国内における *Acrocomia* sp. の内果皮の漂着記録は無い. アジアの *Acrocomia* 属に関する文献は見当たらなかったもので、欧米の文献を参考にし *Acrocomia* sp. に酷似した内果皮とした. 太平洋地域ではサイパンで *Acrocomia* sp. の漂着記録があるが (Beachcomber on Saipan ブログ), 分布域を考えれば、日本での漂着は稀有な例と言える. ただこれまでも中南米起源の漂着種子類には、オキシリンクス *Oxyrhynchus trinervius* (林・加藤 2009; 中西・坂巻 2017) やマリアマメ *Merremia discoidesperma* (加藤 2008; 中西・坂巻 2017) があるが、漂着記録は限られている. こうした日本への漂着例が少ないのは、漂着量が少ないのと同時に、種子の形状が広く知られてないのも要因の一つであろう.



図1 愛知県田原市谷ノ口海岸の位置

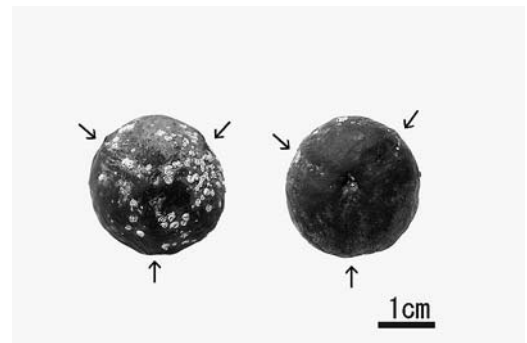


図2 田原市谷ノ口海岸に漂着した *Acrocomia* sp. に酷似した内果皮. 左 上面・右 下面. 矢印は側面にある発芽孔の位置



図3 田原市谷ノ口海岸に漂着した *Acrocomia* sp. に酷似した内果皮 二方向から見た側面 中央外周部に3個の発芽孔が見られる. 矢印は発芽孔

台風15号は8月末から9月初めにかけて950hpaほどの勢力をもったまま太平洋上に停滞した。このとき渥美半島では台風の強風圏内には入らなかったが、8月末にはうねりも強く南東の風が吹き続けた（気象庁ホームページ）。谷ノ口海岸では数多くの南方由来の植物体が漂着しており、台風の影響による風に起因する吹送流が、黒潮に乗ってきた漂流物を陸地に近づけたと考えられる。

愛知県の渥美半島の太平洋側では、これまでに漂着物調査を続けてきたが、今後も継続的な調査を続け、黒潮の影響が強い夏季の漂着物に注目することで、植物の生態や分布に関する新たな知見が得られるであろう。

謝辞：本稿をまとめるにあたり北海道教育大学札幌校の鈴木明彦教授には、粗稿を見ていただいた。また2名の査読者には論文の改善に関わる貴重な指摘をいただいた。ここに記してお礼申し上げる。

引用文献

- Beachcomber on Saipan ブログ. <http://beachcomberonsaipan.blogspot.jp/2010/06/drift-seed-prickly-palm.html> (2018年3月19日閲覧)
- Gunn, C. R. and Dennis, J. V. 1976. World guide to tropical drift seeds and fruits, 1976. Quadrangle, New York.
- 林 重雄・加藤詩邦. 2009. 沖縄県宮古島市池間島への *Oxyrhynchus trinervius* (マメ科) の種子の漂着. 漂着物学会誌 7: 39-40.
- 林 重雄 ブログ. Beachcomber's Logbook (<http://beachcomb.exblog.jp/>)
- 加藤詩邦. 2008. 聖なる種子の長い旅. どんぶらこ (24): 15.
- 気象庁ホームページ. (<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>) (2018年3月19日閲覧)
- 中西弘樹・坂巻 (久野) 幸子. 2017. 与那国島 (沖縄県) への熱帯起源の稀な果実と種子の漂着記録. 漂着物学会誌. 14: 5-9.
- Nelson, E. Charles 2000. Sea beans and Nicker nuts, 156pp. BSBI, London.
- Quigley, D. T. G., Gainey, P. A., Pyne, A. and Hill, R, 2017. Prickly Palm *Acrocomia* spp. (Arecaceae) endocarps: first records from Irish waters and a review of NW European records. Journal of the Botanical Society of Britain & Ireland Volume 7: 51-56.
- 田原市 2008. たはらの海辺の博物誌, 95pp. 田原市, 愛知.

(Received Apr. 4, 2018 ; accepted May 10, 2018)

¹ 〒486-0844 愛知県春日井市烏居松町3-155

¹ 3-155 Toriimatsu-cho, Kasugai City, Aichi 486-0844 Japan